

とものつくるゆめ基金だより

とものつくるゆめ基金だより<第4号>
発行日：2022年4月28日
発行元：とものつくるゆめ基金事務局

◆ごあいさつ

「とものつくるゆめ基金」は4月より新たな事業年度を迎えました。2022年度もお子さまにとって「とものつくるゆめ基金」が身近な存在となれるように、昨年度も実施したイベントの開催をはじめ、マイページの改訂、年度ごとの活動報告書作成による新たな情報発信等を行って行く予定です。事務局一同、引き続きお子さまのお力になれるよう精一杯努力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします！

◆支援金をお支払いしたお子さまから近況を伺いました！

「とものつくるゆめ基金」では、2022年1月にこれまで「ゆめ育成支援金」「ゆめ応援支援金」をお支払いしたお子さま(保護者)に対し、アンケートを実施しました。今回はアンケートにご協力いただいた皆さまの近況についてその一部をご紹介します。なお、今回掲載しきれなかった分は別途ご紹介させていただく予定です。乞うご期待ください♪
ご協力いただきました皆さま本当にありがとうございました！

(2022年3月31日現在)

| | |
|----------------------|-------------------|
| 支援申請者数(お子さま) | 293名 |
| ゆめ育成支援金 受付件数 | 22件 |
| ゆめ育成支援金 お支払い件数・金額 | 21件 214,001円 |
| ゆめ応援支援金 受付件数 | 53件 |
| ゆめ応援支援金 お支払い件数・金額 | 33件 3,872,155円 |

※ゆめ育成支援金：お子さまの誕生日に1万円分のポイントを支援
※ゆめ応援支援金：0歳から15歳までの間で15万円分のポイント、16歳から24歳までの間で15万円分のポイントを支援

| ゆめ | つかいみち | 活用後の近況 |
|--|--|--|
|  美容師 高校生・女性 | 美容師が使う道具(はさみ・アイロン・マネキン)  | 支援金で購入した道具を使って美容師になる練習をしています |
|  マンガ家 専門学校生・男性 | マンガ家になるための専門学校の授業料 | 専門学校の授業料に使わせていただき、現在も学校に通って勉強しています |
|  写真家、トリマー 小学生・女性 | 動物関連の書籍  | 支援金で購入した本を暗記するくらい何度も読み返したり、友達と読んで楽しんでいます |
|  人事採用のプロ 社会人・女性 | 自己啓発本  | 支援で購入した本についてはほぼ読み終わられました。自分の考え方の幅や知識が増えたと実感しています |

◆事務局職員の交代について

2022年4月1日付で安彦職員から守屋職員に交代となりました。それぞれ離任と就任のごあいさつをさせていただきます。



あびこ ゆうた
安彦 佑大

2022年3月末をもちましてゆめ基金を離れることになりました。これまでたくさんの経験をさせていただきましたが、支援をさせていただくなかで特に印象に残っているのはお子さま方との面談です。面談ではどのお子さま方からも自身の「ゆめ」の実現に向けて一步一步進んでいこうとするまっすぐな思いを感じることができました。短い期間ではありましたが、大変お世話になりました。皆さまのご健康とご多幸、そしてお子さまおひとりおひとりの「ゆめ」が実現できることを心よりお祈りしております。どうもありがとうございました！！



もりや こうへい
守屋 光平

この4月よりゆめ基金事務局に着任しました守屋と申します。現在は、新しい仕事と環境に一早くなじむべく奮闘する日々を送っております。もうすぐ事業開始から3年目を迎えるという中で、事務局としてこれまで以上に皆さまの「ゆめ」を支援する活動ができるよう、努力して参ります。

◆書籍のご紹介～「大人になったらしたい仕事」～朝日中高生新聞編集部～(定価:各 1650円)

今回ご紹介する書籍は、「朝日中高生新聞」に掲載されていた「夢ナビ！お仕事レポート」が本になったものです。それぞれの本に35人の大人が出ていて、自分の仕事を紹介しています。その人が小学生のとき、中学生のとき、高校生のとき、専門学校生や大学生のときに何をしていたかということも記載されているので、今の自分と照らし合わせながら読んでもおもしろいと思います。また、自分がなりたい仕事に就いている人のところだけを見ても参考になりますが、他の人のページを読むと世の中には色々な仕事があることが分かります。もちろん大人が読んでも世界が広がります。学校や地域の図書館にも置いてあると思いますので、ご興味がある方はぜひご覧ください！



編集後記

この4月からお子さまのなかでは、進級や進学、就職等により、環境が変わられて新生活が始まった方も多くいらっしゃるかと思います。そういった人生の節目は、新たな目標を発見したり、すでに持っている「ゆめ」の実現に向けた具体的なステップを考えたりするきっかけになります。この機会に、ぜひ皆さんの「ゆめ」を応援させてください！！(K.M.)

一般社団法人ともにつくるゆめ基金事務局

<https://www.tomoni-yume.org>

東京都港区芝浦 3-2-22

TEL:03-6809-3130 MAIL:info@tomoni-yume.org

